

【正誤表】

『好きになる免疫学 ワークブック』

(2023年7月現在)

以下の箇所につきまして間違いがありました。訂正してお詫び申し上げます。
(お手元の書籍の刷数によって、既に訂正済みの場合がございます。刷数は奥付に記載しております)

(1刷用)

箇所	誤	正
2 頁の 図	<p>みな出身は骨髄です</p> <p>造血幹細胞 → 顆粒球 (好中球や好酸球などの白血球) → 顆粒球の代表「好中球」</p> <p>造血幹細胞 → 単球 (マクロファージの前身) → マクロファージの前身「単球」</p> <p>造血幹細胞 → 未熟リンパ球 → 未熟B細胞 → 成熟B細胞 → 抗体を発射する鉄砲隊「B細胞」</p> <p>造血幹細胞 → 未熟リンパ球 → 未熟T細胞 → 厳しいセレクション → 成熟T細胞 → 免疫応答の司令官「ヘルパーT細胞」</p> <p>骨髄</p> <p>胸腺</p>	<p>みな出身は骨髄です</p> <p>造血幹細胞 → 顆粒球 (好中球や好酸球などの白血球) → 顆粒球の代表「好中球」</p> <p>造血幹細胞 → 単球 (マクロファージの前身) → マクロファージの前身「単球」</p> <p>造血幹細胞 → 未熟リンパ球 → 成熟途上のB細胞 → 抗体を発射する鉄砲隊「B細胞」</p> <p>造血幹細胞 → 未熟リンパ球 → 未熟T細胞 → 厳しいセレクション → 成熟T細胞 → 免疫応答の司令官「ヘルパーT細胞」</p> <p>骨髄</p> <p>胸腺</p> <p>▶ B細胞は骨髄で途中まで成熟し、T細胞は胸腺で完全に成熟する。</p>
	<p>(修正理由)</p> <p>骨髄を出る段階のB細胞はまだ成熟しきっていないため、「B細胞は骨髄で途中まで成熟し、T細胞は胸腺で完全に成熟する」という説明文を追加し、図を修正しました。</p>	
79 頁の 図	<p>II型よりIII型のほうがひと手間多い</p> <p>II型過敏反応</p> <p>細胞/組織に固定した抗原+抗体</p> <p>↓</p> <p>細胞/組織その場で傷害</p> <p>傷害される細胞/組織は特定の細胞/組織に限定</p>	<p>III型過敏反応</p> <p>可溶性抗原+抗体</p> <p>↓</p> <p>免疫複合体形成</p> <p>↓</p> <p>免疫複合体形成が沈着した場所 (血管壁、糸球体、関節など) で傷害</p> <p>傷害される臓器は複数になりうる</p>
	<p>II型過敏反応</p> <p>細胞/組織に固定した抗原+抗体</p> <p>↓</p> <p>細胞/組織その場で傷害</p> <p>傷害される細胞/組織は特定の細胞/組織に限定</p>	

頁	行	誤	正
25	最終行	治療への応用	医療への応用
34	表と3, 6, 8, 下から9	人工的な治療法として	医療行為として
37	9, 11	治療としての	医療行為としての
123	最終行	治療としての能動免疫 (p.34)	医療行為としての能動免疫 (p.34)
136	索引	治療としての—— (2か所)	医療行為としての—— (2か所)
		<p>(修正理由)</p> <p>ワクチン接種は「治療行為」ではなく、感染症の発症を予防したり重症化を防ぐ目的で行われる「医療行為」であるため修正しました。</p>	